

BMXパークなど整備

各務原市 前渡地区整備事業で起工式

【岐阜】各務原市が進める「前渡地区木曽川周辺整備事業」の起工式が、工事関係者らを集めて開かれた。同市前渡西町の約2万平方メートルに、地元野菜を味わえるバーベキューができるデイグランピング施設、初心者でも自転車競技に挑戦できるBMXパーク、公園などの整備を計画している。整備・運営はパークPF

Ⅰ（公募設置管理制度）を採用し、事業者に募井、スペース、オノコムで構成する各務原トライアングル共

同企業体（JV）が選ばれた。施設は12月の開業予定。年間約20万人の来場を見込んでいる。

起工式で、浅野健司市長は「BMXやデイグランピングなど、他にはない要素が詰まった素晴らしい拠点。新たなにぎわいが生まれる場所になる」と期待を示した。

設計や監理業務などを担当するスペース名古屋本部クリエイティブ事業部企画開発部の祖田篤輝部長は「一般的な遊具は置かず、丘自体を遊具に見立てるなど、地形を生かした遊び場を展開したい」と話した。



公園施設の完成イメージ

